第５回新司法試験についてのアンケート

東京弁護士会法曹養成センター

（1） 卒業した法科大学院名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

入学年　平成　　年　4月

卒業年　平成　　年　3月

新司法試験受験回数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿回

法科大学院のコース（いずれかに○を）　未修　・　既修

未修コースの方の法科大学院入学前の取得学士及び法律学学習歴（該当するものに○を。複数回答可）

法学士・他の文系（　　学士）・理系その他（　　学士）・司法試験予備校・自習・その他（　　）

（2）短答式試験についてのご意見（該当する欄一つに○を記入してください）

a　問題の量について

	1．多過ぎる	2．やや多い	3．適当	4．やや少ない	5．少な過ぎる
公法系					
民事系					
刑事系					

b　問題の難易について

	1．難し過ぎる	2．やや難しい	3．適当	4．やや易しい	5．易し過ぎる
公法系					
民事系					
刑事系					

c　法科大学院で学ばない条文や裁判例の知識だけを問う出題がどの程度ありましたか

	1．たくさん	2．少し	どのような条文・裁判例ですか	3．なかった
公法系				
民事系				
刑事系				

d　法科大学院教育とかけ離れた出題がありましたか

	１．あった	どんな出題ですか	２．なかった
公法系			
民事系			
刑事系			

（３）論文式試験（必須科目）についてのご意見（該当する欄一つに○を記入してください）

a　出題形式が適切かについて

	問題種別	１．大変適切	２．ほぼ適切	３．やや不適切	４．大変不適切
公法系	憲法				
	行政法				
民事系	民法				
	民訴				
	商法				
刑事系	刑法				
	刑訴				

b　問題事例の設定について

	問題種別	１．複雑過ぎる	２．複雑である	３．適当	４．簡単である	５．簡単過ぎる
公法系	憲法					
	行政法					
民事系	民法					
	民訴					
	商法					
刑事系	刑法					
	刑訴					

c　論点の数について

	問題種別	1．多過ぎる	2．やや多い	3．適当	4．やや少ない	5．少な過ぎる
公法系	憲法					
	行政法					
民事系	民法					
	民訴					
	商法					
刑事系	刑法					
	刑訴					

d　問われている論点は法科大学院で学んだものでしたか

	1．全く学んだことがない	2．学んだことから大幅に超えている	3．学んだことに適合している
公法系			
民事系			
刑事系			

e　出題の意図と解答者に要求される知識及び思考力・応用力との関係について

	問題種別	1．知識偏重過ぎる	2．やや知識偏重である	3．適切である	4．やや思考力・応用力に傾きすぎている	5．思考力・応用力に傾きすぎている
公法系	憲法					
	行政法					
民事系	民法					
	民訴					
	商法					
刑事系	刑法					
	刑訴					

（4）論文式試験（選択科目）についてご意見があれば、お書きください。

受験した科目＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（5）法科大学院の授業への影響

A　今回の試験を踏まえて法科大学院の授業のあり方を変更する必要があると感じられましたか。

１．はい　　２．いいえ

B　１．の場合、どのような変更が必要とお考えですか。(複数回答可)

① 法理論的視点の授業をより充実した方がよい

② 実務的視点の授業をより充実した方がよい

③ 論述能力を身につけるための工夫をした方がよい

④ その他

（6）試験科目の適合性

A　試験科目は現行のままでよいと考えますか。新しく加えるべき科目がありますか。

１．現行のままでよい　　２．加えるべき科目がある

B　２．の場合、どのような科目ですか。

（7）その他、受験してお気づきの点がございましたら、お書きください。

（受験回数が複数回の方は, 以前の年度と比較して気づいた点があれば, それも書いてください。）